



運輸安全マネジメント：「点呼・健康管理システム」
点呼・健康管理システム 「点呼・健康：ご安全に！」

～主観的な点呼から客観的な点呼で安全・安心を～

★ 始業点呼とは

始業点呼とは、安全な運行を実施するために行うものであり、単なる「作業」ではありません。運転者が安全に車を運行できることを確認すると同時に、安全確認を行い注意を促すのが点呼です。最近発生している重大事故の大きな要因の一つとして「運転者に起因する事故」があります。自動車運行は、事故が発生すると人の生命・財産を奪う可能性のある責任の大きい業務なので、管理者の管理/指導も含め始業点呼の重要性は高まっています。

最重要課題

安全・安心

性善説では
担保できない!

公共交通をご利用いただくお客様に対して、「安全・安心」をお届けすることが公共交通事業者にとって最大の課題になっています。これまでの点呼現場は**主観的**な点呼が主流でしたが、今後は運転者一人一人の健康状態や運転特性を把握し、あくまでも**客観的**な点呼を推進していきます。



主観的
いままでの点呼

	視点	点呼内容
客観的		定期健康診断
		乗車前アルコールチェッカー
		点呼（目視・自己申告）
主観的		唱和
		連絡
		車両の鍵受領
		車両点検

潜在的な経営リスク

- ・定期診断結果が毎日の始業点呼に反映されていない。
- ・健康状態や始業点検が運転者に一任され客観性に乏しい。
- ・専門性に欠ける他、人間関係等の事情から点呼が形式的。
- ・乗車できない場合の減収などの問題から無理をする傾向。
- ・始業時の車両点検も運転者による個人差が大きい。



客観的
これからの点呼

	視点	点呼内容
客観的		定期健康診断
		乗車前アルコールチェッカー
		免許証読取による認証
		体温計・血圧計のシステム連携
		国交省規定項目のシステム入力
		車両の鍵支給をシステム判断 車載機情報を加味した車両点検

計測情報はエビデンスとして管理



【4つのポイント】



◎ エビデンスの確保と日次健康データをリアルに反映

始業前点呼において、健常者/要治療者の健康状態をチェックした点呼記録をデータ化し、いつでも点呼記録を点呼実績（エビデンス）として出力可能状態で保存しておくことができます。また、日次健康データ（体温、血圧、血糖値）を日々測定することにより、点呼者および被点呼者も健康状態が見える化され、客観的な判断が可能になります。



◎ 日次健康データと過去の定期健診データとの相関関係を確認

年に2回実施される定期健診データと日次健康データを比較することにより、点呼者一人一人の健康状態が比較可能になります。一般的な年齢による健康平均値ではなく、個人の平均値比較になるため、データの蓄積量が増えれば、さらに精度の高い客観的判断材料になります。

◎ 車載機データ連携による運転者の運転特性と健康状態の相関関係を確認

車載機から「交差点での徐行、ウィンカー点灯・ハンドル急旋回・エンジン回転数・速度の傾向」などの運転特性を取得し、運転者の健康状態と比較することによって、健康状態と運転特性の相関関係を確認することができます。健康状態がわかれば事前に「今日注意して運転すべき項目」の案内が可能になります。



◎ データ蓄積による点呼者および乗務者への教育ツールとして活用

蓄積されたデータを利用して、経験に頼らない品質が確保された点呼が可能になります。健康データおよび運転データの分析を通じて、運転者への教育ツールとして活用します。データを通じて、さらなる安全・安心をお客様へお届けし、経営ツールとしてご利用いただけます。



株式会社リオス

〒702-8006
岡山市中区藤崎564番の5

TEL : 086-200-1155
FAX : 086-200-1260
URL : <http://www.rios.co.jp/>



お問い合わせ先

<岡山本社> 〒702-8006
岡山市中区藤崎564番の5
TEL : 086-200-1155 FAX : 086-200-1260
担当：谷口(たにぐち)、園山(そのやま)

<東京支社> 〒108-0014
東京都港区芝5丁目33番1号 森永プラザビル本館16階
TEL : 03-3769-7825 FAX : 03-3769-7827
担当：橋本(はしもと)、近藤(こんどう)、
加藤(かとう)、藤田(ふじた)

<大阪支社> 〒532-0003
大阪市淀川区宮原3丁目5番36号 新大阪トラストタワー16階
TEL : 06-6394-1260 FAX : 06-6394-1261
担当：戸田(とだ)、木本(きもと)

- 当パンフレット内の画面イメージは、すべてサンプルです。
- 推奨の機器以外では正常に動作しないことがあります。
- パンフレットの内容は、予告なしに変更することがあります。

【システム概要】

注意していてもなかなか無くならない免許証不携帯。
免許証を物理的にシステムのログインに利用することで
免許証不携帯をなくし、免許証を所持することを
意識付けします。



クラウドセンター
(IDC)
Internet

点呼現場

タブレット端末を利用した点呼



Action Plan

Check Do

社内の
教育ツール
として!

1 免許証更新忘れ防止

持っていないことを気付かずに乗ると大変なことになる免許証。
システムのログインに免許証のIC機能を利用することにより
免許証不携帯・更新忘れが起きないようにします。

免許証読取
ICカードリーダー



乗務OK!

2 体調履歴管理

健康状態を各自の体感ではなく「数値化」することにより
客観的な体調管理と、履歴との比較を可能にします。

血糖計



体温計



血圧計



免許証読取
ICカードリーダー



操作も簡単、ワンタッチで健康情報を
計測・集中管理します。

3 国交省規定項目確認

国土交通省が規定している、点呼時に必要な確認項目を
タブレットで簡単にシステムに入力します。

国土交通省健康管理マニュアル
に沿った入力項目です。

乗務OK 乗務NG

入力は「はい/いいえ」を回答する
簡単なアンケート方式になっています。



問題がある項目は赤く表示されます



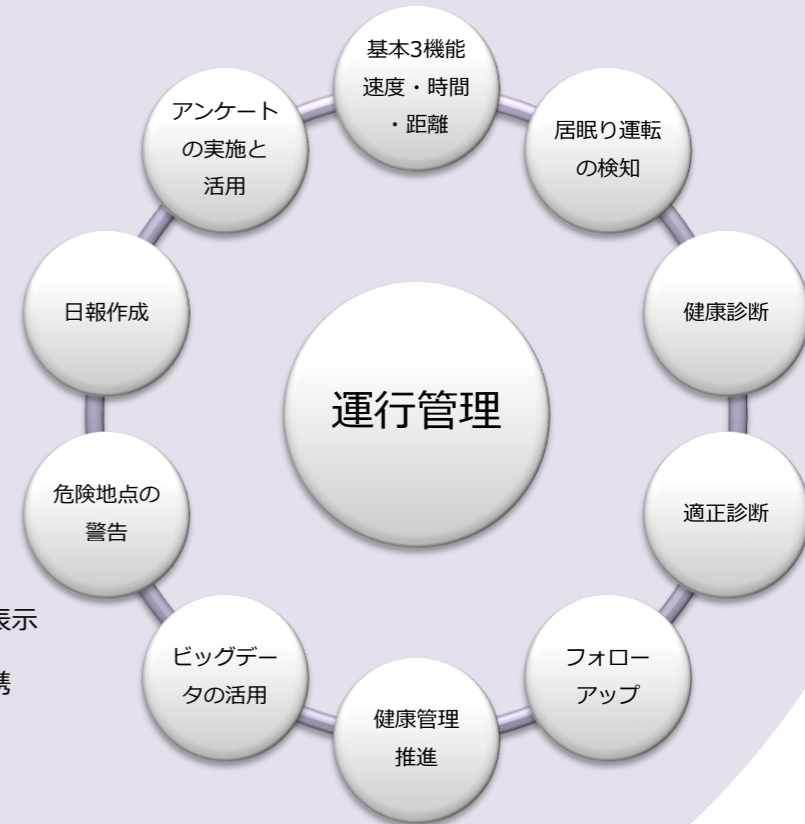
事故情報



健康診断・適正診断結果

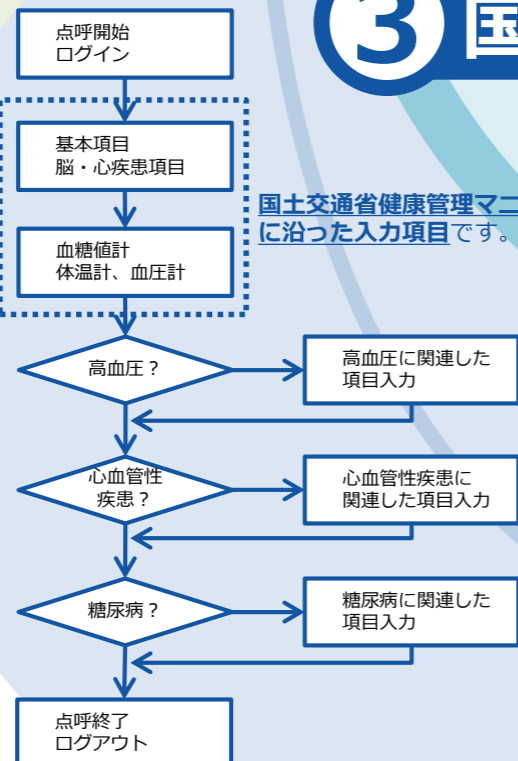


ドライブレコーダー



- 点呼管理
- 健診内容閲覧
- 健康データ内容閲覧
- 検査データ内容閲覧
- データ連携強制所得表示
- 検査数値登録
- 検査数値サーバー連携
- 健康データ連携
- システム管理
- メンテナンス

管理者用機能



機器をかざすだけで
測定値を自動送信

